

令和5年度滝沢市スポーツ推進審議会（顛末書）

- 1 件 名 令和5年度滝沢市スポーツ推進審議会
- 2 日 時 令和6年2月5日（月）午後1時15分から午後3時15分まで
- 3 場 所 ビッグルーム滝沢小ホール
- 4 出席委員

委員14人のうち14人の出席であり、設置条例第4条第2項により本会は成立。

N o	氏名	役職	所属など	出欠
1	千葉 智行	会長	盛岡大学文学部社会文化学科教授	○
2	本間 栄作	副会長	滝沢市スポーツ推進委員協議会長	○
3	菊地 尚子	委員	滝沢市小学校体育連盟会長（滝沢小学校長）	○
4	藤澤 英輝	委員	滝沢市中学校体育連盟会長（滝沢中学校長）	○
5	及川 大	委員	（公財）滝沢市体育協会副会長	○
6	川村 尚雄	委員	滝沢市自治会連合会副会長	○
7	佐藤 静子	委員	滝沢市スポーツ少年団本部長	○
8	大村 東子	委員	柳沢保育園長（滝沢市保育協会）	○
9	藤倉 昌枝	委員	滝沢市地域婦人協議会理事	○
10	塚本 潤一	委員	滝沢市身体障害者福祉協会会長	○
11	小林 和夫	委員	滝沢市老人クラブ連合会理事	○
12	外山由美子	委員	滝沢市食生活改善推進員連絡協議会長	○
13	小島 勝子	委員	滝沢市レクリエーション協会会長	○
14	猿舘 睦子	委員	滝沢市健康福祉部健康推進課長	○

5 出席職員

N o	氏名	所属・役職など
1	太田 厚子	滝沢市教育委員会 教育長
2	久保 雪子	滝沢市教育委員会事務局 教育次長
3	高橋 克周	滝沢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課長
4	細川 健一	滝沢市教育委員会事務局生涯学習スポーツ課 総括主査兼社会教育主事

6 主な質疑応答

- 委員 自治会対抗の市民体育祭ですが参加自治会数は5割程度となっており、開催方法の見直しの時期と考えています。高齢者スポーツの一環でいきいきサロンを行っていますが、これも自治会毎にバラツキがあります。地域によってはスポーツを楽しむ場所自体がないところもあります。
- 委員 市民体育祭の卓球とマラソンに出場できないとの声もありますのでレベル毎に二部制に分けて開催する方法も考えています。スポーツ推進委員協議会としても社会福祉協議会や教育委員会と連携しながらボッチャやモルックなどの普及啓発に取り組んでおり市民体育祭でも二部として開催する方法を提案していければと思います。
- 委員 ニュースポーツと言っても多種多様なジャンルがあります。大沢地区において輪投げを熱心に取り組んでいる皆さんが好成績を挙げられており、遊びでありスポーツであり、スポーツであり遊びである、この視点がスポーツ・レクリエーションであり生涯スポーツです。
- 委員 最近では、ボッチャが老人クラブにおいても人気があります。かつては市内に老人クラブが23個ありましたが現在は19個と減少してしまいました。老人クラブのスポーツ大会がなくなってしまうのではと危惧しています。
- 委員 自治会によっては、地域運動会や子ども会活動など一生懸命なところとそうでないところがあることを感じています。
- 委員 中学生も小学生同様に自治会活動に参加していますが、どうしても運動部活動が中心となってしまいます。自治会としては子どもたちを巻き込んだ地域活動を展開したいが、子どもたちにPRする場がないとの声が寄せられますので、地域活動を紹介するよう工夫しています。
- 委員 スポーツ少年団の単位団数は横ばいですが、種目によっては団員数が増えているところもあります。現在、滝沢総合公園体育館が改修中のため活動場所が限られていますが、もうすぐ工事が終わりますので活動も活性化するものと期待しています。平日夜練習を行う場合、滝沢市は小中学校の体育施設開放が充実しているのでありがたいです。
- 委員 スポーツ庁では、教職員の働き方改革の一環として中学校運動部の地域移行を提唱しています。教育委員会として今後どのように取り組まれるのかお教えいただければと思います。
- 事務局 教育委員会として、中学校運動部の地域移行に関する明確な方針などは決まっておられません。外部指導者による部活動指導員の配置を数年前から取り組んでおりますし、創立20周年を迎えた総合型地域スポーツクラブ「チャグチャグスポーツクラブ」を通じた学校体育と地域スポーツの連携・協働を以前から進めてきた経緯があります。今後とも、国や県、他市町村の動向を注視していきたいと思っております。
- 委員 市内には大学生がたくさんいますので若者の力を障がい者スポーツにも活かしていただければありがたいです。それと、市職員によるスポーツサーク

ルなどはございますか。市職員も地域におけるスポーツ推進にもっと貢献していただければ幸いです。

事務局 市職員互助会による同好会的な球技系サークルが活動しております。また、自治体職員対抗の大会などで活躍するサークルもございます。また、スポーツ少年団やチャグチャグスポーツクラブ、種目別協会活動などに取り組んでいる職員もいます。

委員 ビッグルーフ滝沢には、遊べる場所、学べる場所、食べる場所、買い物ができる場所などが整っています。屋外にはチャグチャグ馬コをイメージした固定遊具もあり、子どもにも保護者にもやさしいまちづくりを展開されていると感じます。最近、自治会や老人クラブなどから保育園への地域交流のお誘いが増えております。子どもたちにとっても地域の皆さんにとっても高齢者の皆さんにとっても良き交流の場であると感じています。

委員 地域婦人協議会として会員数の減少が深刻な課題です。個人的な話ですが、3人の男の子がいる私の娘が「滝沢市内に子どもたちが遊べる場所がもっとあれば」と言います。大沢自治会として世代間交流の集まりが多いですし、老人クラブ活動も盛んです。

委員 市内中学校運動部の県大会優勝が増えて感動しています。私自身、柔道選手として活躍する甥や姪たちへの減量指導に取り組んだ経験があります。食生活改善推進員連絡協議会として教育委員会や体育協会などと協力して、スポーツに取り組む親子対象の食に関する教室ができればと考えています。

委員 健康推進課として令和5年9月より、妊産婦さんの健康づくりの一環として健康スマイルスタジオを実施し、ヨガなどを楽しむ機会の提供に取り組んでいます。また、女性における医療費の増加や健診結果では肥満や運動習慣が少ないなどの課題があり、働き世代を対象とした夜間の運動教室を開催するなど工夫を凝らしています。

委員 来年度以降には滝沢総合公園体育館内に子どもたちの遊ぶ場所づくりに取り組む予定です。

事務局 市民体育祭ですが、自治会対抗による開催方法の見直しの時期と考えております。モルックやポッチャなどを含むユニバーサルスポーツの普及啓発も社会福祉協議会などと連携しながら取り組みたいと考えております。地域学校協働活動の進展に併せて子どもたちの自治会など地域活動への参画活躍も進むものと思われま。滝沢総合公園体育館改修工事がもうすぐ完了する見込みとなっております。

事務局 小学生体力テストなどの結果を見てもコロナ禍の影響を受けていましたが最近では回復傾向にあり、60（ロクマル）プラスプロジェクトを通じた「運動習慣」「食習慣」「生活習慣」の一体的な推進に取り組んできた成果が出ていると感じます。中学校運動部の地域移行ですが、部活動ガイドラインに基づき外部指導者による部活動指導員配置を予算措置を図りながら、地域や学校におけるそれぞれの状況に合う方法で学校体育と地域スポーツの連携・協働を少しずつでも進めているところです。